

3月22日。

6年生の卒業稽古が行なわれた。



少年部で稽古を積んできた7名の子達が小学校を卒業すると同時に、少年部からも卒業する。

最上級生としてクラスを盛り上げ、後輩の指導をしてきた彼らは、この日も気合全開でクラスを盛り上げ、組手では後輩に胸を貸してくれた。



稽古後には後輩達からの記念品が手渡され、今西師範から激励の言葉が贈られた。



最後は卒業生一人一人から後輩達に挨拶。

小嶋瑠久君



「小学1年の時に入門しました。辛く苦しいときもありましたが、諦めず黒帯になることができました。後輩のみんなも辛く苦しくとも諦めず頑張ってください。」

勝呂光希君



「中学に入ったら色々頑張ります。みんな色々頑張ってください。」

廣谷秀代さん



「4年前に空手を始めた頃は、何も分かりませんでしたが、技を覚えていくうちに空手が大好きになりました。これからも空手を続けていくので、道場で会ったら気軽に声を掛けてください。」

高橋駿輔君



「今までありがとうございました。」

村上朝太郎君



「色々な人に支えられて頑張ってくられました。中学でも頑張ります。」

竹内一聖君



「2年前に空手を始め、先生達から色々教えてもらいました。後輩のみなさんも先生の言うことをよく聞いて頑張ってください。」

横溝史門君



「僕はまだオレンジ帯ですが、中学に入ってから、上の帯を目指して頑張ります。」

今年の卒業生は強いだけでなく、常に後輩に優しく面倒見が良かった。

きっと後輩達は、そんな先輩をお手本にして、ますます道場を盛り上げてくれるに違いない。



✕ 閉じる